

令和5年度自己評価のまとめ

A:実践が進み、着実に成果を上げている。
B:実践に努め、徐々に成果を上げている。

C:実践に努めている。
D:努力を要する。

基準値＝2.5

・赤字は昨年度よりも低下した部分
・青字は昨年度よりも改善された部分

		評価						取組方法・改善 方策について
領域	教育目標・学校運営	A	B	C	D	平均点	昨年度	
1	教育目標は、学校や生徒の実態、地域等の要望を踏まえている。	1	12	0	0	3.1	3.1	
2	教育目標の達成に向けた校内体制は適切に組織されている。	0	6	6	1	2.4	2.9	マンパワー不足だと感じる。チーム担任制の導入などで小規模校の強みを生かす組織体制での学年経営も一つだと感じる。ICTやスタディサプリ、栗山と福祉など委員会や学年主導の運営では長期的な見通しは持ちづらいため分掌業務に組み込むなど校内体制を整える術も必要だと感じる
3	教職員間、教職員と管理職間の対話が推進され、協働意識が形成されている。	0	6	5	2	2.3	3.1	・第3者の仲介・措置 ・反省会議等でも訴えさせていたいただきましたが、教員の意識が変わらない限り改善は難しいと思います。
領域	教育課程・学習指導(教育課程の状況)	A	B	C	D	平均点	平均点	
4	教育課程は生徒の進路志望の実現に相応しいものである。	1	9	2	0	2.9	2.8	
5	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善のための取組が推進されている。	1	9	2	0	2.9	2.9	
6	生徒の実態を踏まえた教材研究や授業方法の工夫・改善が図られている。	0	8	4	0	2.7	3.0	
7	基礎学力の定着や自主的に学習する態度の育成が図られている。	0	9	3	0	2.8	2.8	
領域	進路指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
8	進路学習や講習・模試の設定等の取組は生徒の進路目標達成を十分支援するものである。	1	8	3	0	2.8	2.9	
9	勤労観や職業観等、生徒が主体的に進路選択の能力・態度の育成に向けた指導が行われている。	1	9	2	0	2.9	2.8	
10	保護者に対し、3年間を見通した進路指導計画を明確に説明している。	0	8	4	0	2.7	2.8	
11	保護者に対し、生徒の進路決定など進路指導に関する情報提供は十分に行っている。	0	9	3	0	2.8	2.8	
領域	生徒指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
12	校内組織の連携が図られ、学校全体で生徒指導に取り組むことができている。	0	3	8	1	2.2	2.4	・情報交換が不足している。
13	保護者や地域社会、関係機関等との連携・協力が図られている。	0	9	3	0	2.8	2.7	
14	規範意識の向上に努め、社会の一員としての自覚を促す指導が実施されている。	0	8	4	0	2.7	2.6	
15	学校行事や生徒会・HR活動等を通して生徒の豊かな心の育成が図られている。	1	10	1	0	3.0	3.1	
16	教育相談体制を整備し、相談活動が積極的に行われている。	1	11	0	0	3.1	3.2	
17	いじめの未然防止や発生時の対応は適切に行われている。	1	4	5	1	2.5	3.0	職員会議

領域	健康・安全指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
18	家庭や地域の保健・医療機関等との連携が行われている。	0	11	1	0	2.9	3.1	
19	疾病予防等、生徒の自己健康管理能力向上のための取組がされている。	1	9	2	0	2.9	3.1	
20	校内外の事件・事故や災害等に対する危機管理体制は適切に整備されている。	1	8	3	0	2.8	2.9	
21	教職員・生徒の安全対応能力向上を図る取組がされている。	0	7	5	0	2.6	2.9	
22	校舎・校地の環境は適切に維持されている。	0	11	1	0	2.9	3.0	
領域	特別支援教育	A	B	C	D	平均点	平均点	
23	特別支援教育委員会が機能し、各学年等との連携が図られている。	0	11	0	0	3.0	3.2	
24	生徒の実態把握が行われ、支援を必要とする生徒に、具体的な支援活動がされている。	1	9	1	0	3.0	3.1	

◆ 校長が掲げた重点ポイントについての評価

(基準値＝2.5)

重点ポイント		A	B	C	D	平均点	平均点	
1	信頼され選ばれる学校づくり (学校便りや学校ホームページ等の広報活動の充実)	1	10	2	1	2.8	3.3	法遵守
2	組織運営 (学校経営に関する適切な情報の提供と面談等による指導、アクションプラン:働き方改革の推進)	0	9	3	2	2.5	3.3	法遵守
3	教職員の資質向上 (管理職からの日常的かつ適切な指導の実施と情報提供)	0	12	1	1	2.8	3.3	法遵守
4	学習指導 (シラバスを基本とした指導・評価の意識化、授業評価等によるシラバスの見直しと改善)	1	9	1	1	2.8	3.0	法遵守
5	生徒指導 (生徒会活動、就業体験、ボランティア活動等、生徒主体の活動の活性化)	1	8	2	1	2.8	3.3	法遵守
6	進路指導 (3年間を見通した組織的で計画的な進路指導の実施)	1	8	3	0	2.8	3.0	
7	健康・安全指導 (SCとの情報共有や教育相談週間における面談等による生徒理解の深化)	1	10	0	1	2.9	3.3	法遵守

【自由記述欄】

・夏休みの延長なども踏まえ総授業数の確保も必須となる。まずは中間考査を廃止して期末のみにして各教科で単元テストによる評価方法を用いるなども学校として必要な動きになると感じる。来年度からは観点別評価完成年度となるため試してみる価値があると感じる。別件として栗山と福祉を学年主導の運営ではとても負担が大きい。日程調整については高専連携担当から各学年担当のようにしていった方がスムーズだと感じる。